

の至に御座候、固より政見を異にする三派が不自然に結合したるものに外ならざるが故に意見の扞格は當然に有之新聞紙の報ずる所に據れば閣僚の二三は右案を評して一個の私案なりと言ひ、或は閣議に於て任命されたる委員の意見なるを以て所謂原案なりと言ひ論争されたる趣に有之候、吾人は右整理案なるものが私案なると原案なるとを問ふ所に非ずして、新聞紙報道の如く道路改良費を全部削減するの案に對しては卓を叩いて其の暴政を攻めざるべからず候。

治水港灣及道路に關する事業を進展せしむるは我黨年來の主張にして之に反する整理には同意し難く若し我主張を容れずんば吾は適當の措置を探ると言明する政友會の態度が今後に於ける見ものに有之、高橋、横田、犬養の頭株が互に會合して之が對策に付評議し結局右の整理案を目して私案なりと言ふに至りたる消息を綜合して考ふるときは、三派の協定も幾分罅が入りたる感有之候、三事業の成否は吾人國民の眼前に表現するを以て、内閣の政策如何は直に國民の腦裡に深刻に反映するが故に其の取捨に誤なからむことを希望する次第に御座候。

普選も亦近く實行され國民の參政濃度も昔日の如きものに非ざるべく、此秋に方り出水の爲に被害を蒙りたる國民が河

川改修工事の廢止を呪咀する聲、河畔に立ちて、半途廢止したる橋梁を觀て起るべき暴政の嘆は何れも普選に結合して政界の奈邊に波及するかと想は、地方は地方、中央は中央なりとの頭に依り編まれたる兩政の整理が崇る所の多大なるものあるべきは想像するに難からず候、政府某大官の如きは戀々として整理の暴政に甘んずる能はず常に辭表を懷にして登廳しつゝ、ありとさへ傳へられ、其の意氣の壯なる推賞措かざる所に有之、此意氣ありてこそ國運の進展を期するを得べきものと被考、吾人も亦此意氣を以て道路改良費の通過に盡さむことを約し之にて擱筆致候

敬具

◎ポルトセツトより

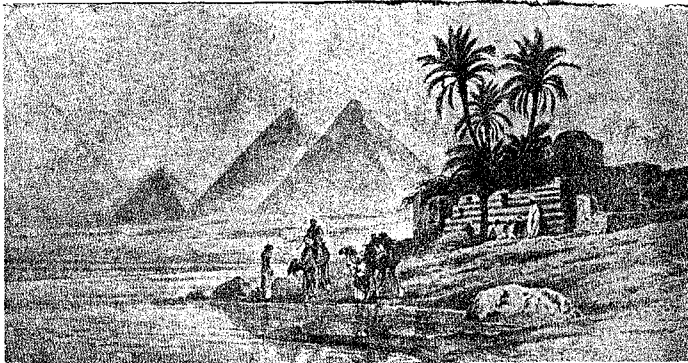
三 浦 生

遙啓、内地に居るときは、洋行する諸氏がなぜ通信しないのかと不思議がつて居たが、自分が船中の客となつて見ると矢張り同様に筆とる氣がしない様に相成矢張り先輩の眞似を餘儀なくせられ申候。

上海、香港實に立派な町に有之、上海に於ては日本人は相當活動致居候得共何と言つても支那人が多數を占め、我々日

本人の爲には一の租界もなく心淋しい感を起さしめ申候、香港裝道路を有し居るこを見るときは東京市道路局が眼醒めて私港は一寸函館に似た處にして美麗な町に御座候是等兩都市の道路を内地の東京の道路に比較して見ると、東京のは到底足許にも依れ不申全都市に亘つて簡短な鋪裝を施し、土其の儘の道路はなかなか見出せない位に御座候、従つて自動車を驅るにも埃二つ立たず。滑かに輕快に走るが故に自動車に要する費用も尠く折角發達した自動車の效用も之でこそ謳歌することが出来るものと存候。

此事績を見て小生が在國當時力説したことが、證據立てられたる心地して愉快に感じ候は、御承知の通り東京市が現在施行して居る如き完全な工法を以て全市の道路を鋪裝るすことは、百年河清を待つゝの類に有之低廉な費用を以て簡短な鋪裝を全市道路に亘つて施行することに有之候、シガボールの如き町でさへ立派な鋪で、小石とゴム質とを密着せしめるのである。



月利彼の御座候、
 還り獅子は
 一角一頭は
 星に子猫は
 移る爪のゆ
 る蒲を漠
 春團を愛
 風着撫進
 雨超る得
 天然腸商
 幾千有餘
 年雨腸商
 及地快口
 文變男波
 埃及兒及
 王三あし
 代三萬ざ
 朝の駝を
 笑墓駝を
 亞比微木
 星

の説を容れなかつた事を憐むものに御座候、

焦熱地獄の紅海も無事通過し昨朝蘇土着汽車にてカイロに行き夫れより自動車を驅つてピラミットスフィンクスに埃及三千年前の古文化を吊ひ申候、後五日にて愈マルセイユに到着の豫定に御座候、
 敬具

コロムボ市のゴム道路

セイロン島の首府コロムボでは市街の路面工事にゴムを試用して、目下その耐久力その他につき試験調査中だが、このゴム道路の築造はゴムの皮及びゴムのしほりかすを材料とし、高熱にて溶解し、コールドターやアスファルト工事と同様に、路面上にぶちまけてホウキをもつてならしや、冷却するを待ちて蒸氣ローラー